



利用者さん 作

(発行)

### 養護老人ホーム 安生園

〒030-0947 青森市大字浜館字間瀬 85-1  
 TEL 017(741)4301 FAX 017(741)4344  
<http://www.jomon.ne.jp/~anjouen/>

### ヘルプステーション あんじょう

TEL 017(765)0381 FAX 017(741)4344

### 居宅介護支援センター あんじょう

TEL 017(765)0380 FAX 017(741)4344



9月18日(水)、第59回敬老会が開催されました。今年75歳の方が6名、85歳の方が4名、100歳の方が1名、それぞれお歳を迎えました。祝賀会では青森大学の忍者部と三味線部のパフォーマンズがありました。4年ぶりに全員揃って会食ができ、みなさんの笑顔を見ることができました。今回お祝いを受けられた方、本当におめでとうございます。

# 敬老会



# 養護老人ホーム安生園、上半期の思い出

## 【お花見】

4月26日(金)、安生園の園庭には19本の桜の木が植えられ、満開を迎えた頃、桜を觀賞しました。



## 【町内会活動】

5月13日(月)、虹ヶ丘町会主催の春の公園清掃、5月27日(月)、花壇の花植え作業を町会の皆さんと一緒に交流を深めました。



## 【消防表彰】

5月1日(水)、安生園前で発生した交通事故の際、安生園職員が119番通報、横転車両から傷病者の救出活動、見守り、二次災害防止のための交通整理を、協力して行ったことに対し、青森市地域広域消防事務組合消防長より職員の連携した救助活動の功績を称え表彰を受けました。



## 【ミニエクササイズ】

6月26日(水)、県立保健大学から神田教授を招いて、園で取り組んでいるフレイル予防の一環として、定期的ミニエクササイズを実施し、入所利用者の方々もホールを使用しての嚥下障害予防エクササイズを楽しく行い、回を重ねるにつれて参加者が増え開催を楽しみにしています。



## 【除菌布贈呈】

4月23日(火)、青青森明の星短期大学コミュニティ福祉専攻介護福祉コース学生が安生園に除菌布を寄贈してくださいました。



## 【地域交流懇談会】

6月15日(土)、安生園・すこやか苑地域防災協力隊代表者の方々を招いて、各施設の概要説明、防災訓練説明を行い、災害時等の協力を依頼しました。



## 【介護予防】

6月24日(月)、県立保健大学から諸橋教授を招いて、日頃、安生園で実施している転倒予防体操の時間に利用者の動きなどを、理学療法の視点から介護予防指導を行っていただきました。前のめり歩行の改善や可動域訓練、腰痛に悩む利用者など、個別にアドバイスをいただき、動きが良かった利用者さんからは、笑顔がこぼれていました。



## 【歯科口腔衛生】

5月16日(木)、歯科口腔衛生指導が行われました。8020(80歳20本)が理想ですが、現状は残存歯が少ない利用者や義歯の方などが多く、正しく口腔衛生を行うことで、健康を維持していきよう歯科衛生士会の皆様方に定期的に歯科口腔衛生指導を行ってもらっています。



【シニアフェスティバル】

9月7日(土)、8名の利用者さんが青森シニアフェスティバルに参加しました。青森警察音楽隊の演奏や展示品を鑑賞しました。



【輪投げ大会】

6月21日(金)、地域の方々と輪投げ大会を通じての交流会を開催し、高得点を取り豪華賞品をゲットしようと共に盛り上がりました。



【夜間想定避難訓練】

7月6日(土)、安生園において夜間火災を想定した避難訓練が実施されました。当日は、近隣町会等から安生園地域防災協力隊の方々も駆け付け、利用者の避難誘導にあたり怪我もなく無事に訓練を終えることが出来ました。



【感謝状】

7月29日(月)、毎年、納涼夏祭りにあわせ、新作ねぶたを提供いただいている、番地銘石様、工場長の成田雅英氏をはじめとする有志の皆様へ安生園から感謝状を贈らせていただきました。



【納涼夏祭り】

7月26日(金)、安生園納涼夏祭りが開催されました。毎年恒例となった番地銘石様からねぶたを提供してもらい、園駐車場でねぶた大好き隊のお囃子とともにねぶた運行を行った他、特別弁当を食べながら楽しいひと時を過ごしました。



【伐根整地作業】

7月上旬、園庭整備のため、伐倒後、バックホウを用いて伐根整地作業を行いました。



【お墓参り】

8月2日(金)、三内霊園にある安生園のお墓を訪れ、お線香を手向けて供養して参りました。



【歴代ねぶた紹介】

2018年度から毎年、番地銘石様、工場長の成田雅英氏をはじめとする有志の皆様が制作したねぶたを、安生園納涼夏祭りの時期に合わせてご提供いただいております。これまでご提供いただきました歴代ねぶたを、ご紹介いたします。

- ①2018年度制作  
「武内宿禰 水溝を作る」  
(たけしうちのすくねすいこうをつくる)
- ②2019年度制作  
「勸進帳」(かんじんちょう)
- ③2020年度制作  
「鬼火花」(おにはなび)
- ④2021年度制作  
「素戔鳴尊乃 大蛇退治」  
(すさのおのみことのおろちたいじ)
- ⑤2022年度制作  
「平清盛 日招き」  
(たいらのきよもりひまねぎ)
- ⑥2023年度制作  
「連獅子」(れんじし)
- ⑦2024年度制作  
「国引」(くにひき)



## 園長あいさつ



実りの秋となりました。いかがお過ごしでしょうか。当園の運営につきましては、皆様のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

これまで入所定員 100 名を維持してまいりましたが、高齢者の福祉ニーズと福祉環境の変化に加えて、コロナ禍等の影響による入所利用者の減少により、令和 6 年 5 月 1 日に入所定員を 80 名に変更いたしました。運営にあたりましては、老人福祉法の理念の下、『青森市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例』を遵守するとともに、当園の基本理念と基本方針に基づいた令和 6 年度事業計画の重点事項等の達成に取り組んでまいります。

また、併設のヘルパーステーションあんじょう及び居宅介護支援センターあんじょうと共に、施設設備や福祉の専門的機能を地域に提供し、職員一丸となって地域に根差した施設運営に努めて参りますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

定員変更により生じた空きスペースの有効活用につきましては、当法人が平内町で運営する『青森障害者就業・生活支援センターすこやか』を当園に移転させ、10 月から運営を開始いたします。

園長 小笠原 暁

社会福祉法人 青森県すこやか福祉事業団 **養護老人ホーム 安生園**

**基 本 理 念**

利用者の人権や意思を尊重し、健康で潤いと生きがいのある生活ができるよう真心を持って支援します。

**基 本 方 針**

- 1 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援を行います。
- 2 個々の利用者が有する能力に応じて、自立した自分らしい生活が送れるよう支援し、明るく家庭的な雰囲気のある、笑顔あふれる施設づくりに努めます。
- 3 利用者・家族・地域との結び付きを大切にし、信頼される施設運営に努めます。
- 4 地域貢献など時代のニーズに即した事業展開に努めます。
- 5 安生園の有する機能（養護老人ホーム安生園、ヘルパーステーションあんじょう、居宅介護支援センターあんじょう）が連携し、新規利用者獲得に向けた情報発信等を図り安定的経営基盤の確保に努めます。

**令和 6 年度事業計画重点事項（抜粋）**

- 1 安定的経営基盤の確保  
青森市内の地域包括支援センターや関係医療機関連携室などへ訪問し事業の周知に努めるほか、空床情報を随時発信し安定した利用者数の確保を進める。
- 2 定員 80 人への対応  
削減対象となる居住区画（あやめ寮）利用者の居室移動を円滑に進める。また、当園実施事業及び法人内他事業も含めた有効活用を進め、効率的な経営改善を目指す。
- 3 住環境の整備  
既存施設の長寿命化を見込んだ部分的改修、付帯設備の修繕・更新など利用者の住環境の整備に重点を置いた居室リフォームを随時実施する。
- 4 感染症対策の強化  
感染症対策を講じたゾーニングエリアと陰圧室を活用し、感染症拡大防止の強化を図る。
- 5 利用者支援の充実  
利用者個々の身体機能、認知機能、生活機能等の A D L の低下予防に向け、食事、口腔ケア、余暇活動等の充実に努め、特性に配慮した支援に取り組む。
- 6 非常災害対策の強化  
BCP に基づき、多発する自然災害に備え、利用者の安全安心を第一に事業継続できるように取り組む。
- 7 虐待防止と人権擁護  
高齢者の虐待防止と権利擁護について研鑽を重ね、信頼され安心して生活できる環境作りを進める。

**ヘルパーステーションあんじょう**

お問い合わせ先 電話 017-765-0381

**居宅介護支援センターあんじょう**

お問い合わせ先 電話 017-765-0380